

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成28年度採択分）
「新刊OAジャーナルを通じた国際的な総合動物学研究の推進」
（課題番号：16HP4001）

学術団体名：公益社団法人 日本動物学会
学術刊行物の名称：ZOOLOGICAL LETTERS
事業期間：平成28年度～平成32年度

1 取組の概要

・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

世界的レベルで基礎研究としての動物学が衰退しつつある中、この重要な分野を守り、推進するため、日本動物学会主導のOA誌を立ち上げ、それを強化する必要が生じ、2015年、新たなOA誌、Zoological Letters (ZL)をBioMed Central (BMC) より立ち上げた。これを国際的認知度と高IFを持つフラッグシップ誌とし、我が国の動物学会が、この学問分野の維持と発展のために世界的な牽引力を発揮することを目指した。



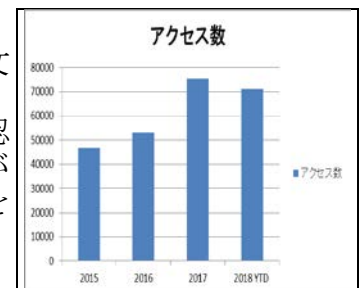
・応募時に設定した取組の目標・評価指標

- 1) 安定的な出版体制をより堅固なものとし、年間約 30 編の良質の原著/総説論文を掲載する。
- 2) 期間内に高 IF (4.0) を獲得し、ZL を経済的に独立したフラッグシップジャーナルとし、総合動物学の発展に国際的に貢献する。

2 目標の達成状況

・現在までの目標の達成状況

- 1) 安定的な出版体制は整い、年間約 20- 30 編の原著/総説論文の掲載が実現している。
- 2) 2018 年度 IF (2.9) を獲得し、それに伴って ZL の国際的認知度が急激に高まりつつある（外国人著者による論文の投稿数が激増）。動物学関連OA誌としては、すでに世界トップ2の座を獲得している。



・今後の計画

IF (2.9) は動物学の雑誌としては極めて高い数値であり、加えて初期投資の効果を考慮すると、これを維持することがすでに至難の業と言うべきである。しかし、これによってすでに海外よりの投稿論文が目に見えて増加しつつあり、これに質の向上が加味されれば、安定した高IFの維持に繋がってゆくと思われる。今後は、年間論文掲載数を現状のまま維持し、引用率の高い、高レベルの論文の比率を徐々に高めてゆくことが堅実な努力目標となる。同時に、安定したAPC収入によって採算が取れる状態に移行してゆく予定。

Rank	Full Journal Title	Journal Impact Factor
1	Frontiers in Zoology	3.627
2	Zoological Letters	2.900
3	Current Zoology	2.393
4	WILDLIFE BIOLOGY	2.081
5	HYSTRING-Italian Journal of	1.862